

# 文化財の保存と活用の引継ぎ（課題と対応）について

## I. 教育委員会での課題

教育委員会として文化財保護の体系を中間報告としてまとめるが課題は残ると考える。しっかりと知事部局に引き継いで行きたい。

### 1. 文化財の保存と活用の一体性

- ・ 県文化財保護審議会の機能強化
- ・ 地域計画策定に係る市町村との連携
- ・ 地域計画に基づく市町村事業に対する支援（奈良モデル）
- ・ 県の政策目的と整合した社寺等との連携

### 2. 文化財の把握の必要性

地域の魅力・絆を深めることを目的とした、地域の人々による参加型の文化財把握のための調査

### 3. 修復の透明化・標準化

埋蔵文化財の発掘調査の標準化、保存修理の公開、デジタルアーカイブの取組

### 4. 人材育成・地域づくり

修復技術者の育成や地域の担い手（地域コーディネーター）の育成・協働

### 5. 持続性ある文化財保護

防災・防犯、クラウドファンディングなどの民間資金導入、文化財の重要性のPR

## II. 知事部局（地域振興部）での対応

引き継いだものを教育委員会が挙げられた課題への対応を含め体系としてまとめ、政策として確立して実行していく。

- (1) 文化財保存課、文化財保存事務所の知事部局への編入
- (2) 審議会（文化財保護審議会、体系推進会議）の知事部局での運営
- (3) これからの文化財保護の体系（中間報告）の引継ぎ及び策定
- (4) 文化財の保存と活用の調和を前提とした文化振興条例（仮称）の策定
- (5) （仮称）国際芸術家村での展開
- (6) 防災・防犯の取組み 等